

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和7年1月29日

No. 28

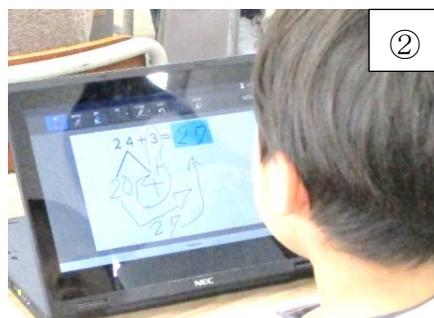
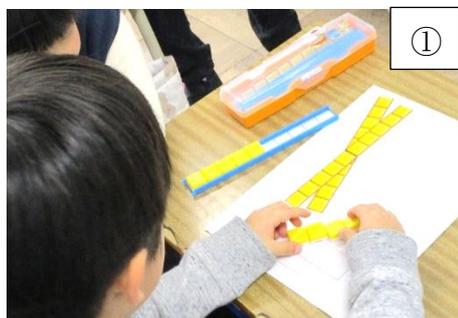


1年生 算数授業研究「おおきいかず」

1月27日（月）2限目、1年A組（担任 水谷）で、今年度6回目となる算数の研究授業を行いました。

本単元では、これまで学習してきた「40までの数」から「120程度までの数」へと、扱う数の大きさを拡張し、数の大小や加法・減法の仕方を学びます。この時間は、「25円のおにぎりせんべいと3円のラムネを買いました。合わせて何円になりますか？」という問題で、「2けた+1けたのけいさんのしかたをともちにせつめいする」ことがめあてです。

前時では、「 $40 + 3$ （何十といくつ）」を考え、一の位に着目して計算することを学びました。この考え方をもとに、本時では「 $24 + 3$ 」の計算の仕方を考えます。十の位はそのまま一の位の加法の仕方を考えることがポイントです。子どもたちは「①ブロックを使う」「②さくらんぼ計算で考える」「③絵や図を書いて考える」といった3通りの方法から自分がやりたい方法を選び、考えていきました。



最後に、隣の友達との考えの交流や全体での確認を行いました。「考えを説明する」ことは、1年生の子どもにとっては難しいことではありますが、たどたどしいながらも、自分の言葉で考えを伝えようとする姿、発言している子の方を見て一生懸命話を聞こうとする姿が見られました。そして、どの考え方でも、「24を20（10のかたまりが2つ）と4（バラが4つ）に分け、『バラの4』と『バラの3』を合わせる、一の位同士を足す」という考え方を導いていきました。こういった「まとめ」を導く力は、問題が変わっても解決するために必要な思考力となり、とても大切な活動です。

放課後には、市教委より来校いただきました指導主事を交え、授業の事後検討会をもち、子どもの様子を振り返りながら、授業改善に向けて意見交流を行いました。



◆1年生 むかしのあそび(1月23日)

14名の学習支援ボランティアの方に来ていただき、「こま」「けん玉」「お手玉」「おはじき」「めんこ」「あやとり」の6つの遊びグループに分かれ、遊び方のコツを教えてくださいました。

昔遊びは、自然と人との温かいふれ合いがうまれます。また、身体の成長や脳の発達を促すよさもあるようです。更に、練習すれば上達するので、挑戦意欲が高まる面白さもあります。「先生、見て見て！」と目を輝かせて技を見せてくれたり、ボランティアさんが話す説明を身を乗り出して聞いたりする子どもの姿から、「昔遊び」がもつ魅力に改めて気付かされます。

今後、子どもたち同士でも「昔遊び」のコツなどを教え合い、友達との関わりの楽しさを味わいながら、自分の技の上達をめざします。そして、教えていただいたボランティアの皆様に披露する予定です。



◆6年生 平和学習「鈴鹿にも戦争があったよ」(1月28日)

元公立中学校社会科教員の浅尾悟先生に、「鈴鹿市にも戦争があった」というテーマでお話を聞かせていただきました。

1942年12月1日、太平洋戦争勃発の約1年後に鈴鹿市が誕生。鈴鹿海軍工廠をはじめ、多くの軍施設が建設されました。そのため、鈴鹿市には戦争遺跡が多く残ってます。一方、今の時代、世界を見渡せば戦争や紛争が絶えません。「第二次世界大戦後、戦争をしていない国は8か国」と聞き、衝撃を受けました。

戦争は過去のこと、遠い国のことではなく、身近なものとして捉えなおし、戦争の愚かさや平和の尊さを考えるきっかけとなりました。

